

事例 19 高品質材の供給

(東北森林管理局)



- 山形県真室川町（まむろがわまち）
前森山（まえもりやま）国有林
- 前森スギ現地意見交換会
（令和4年7月）



- 秋田県能代市（のしろし）
- 市売りの様子（令和4年9月）

東北森林管理局管内には、天然秋田杉の後継・代替となる高齢級人工林秋田杉や、近年、外国からの供給が減少傾向にある広葉樹など、潜在的価値のある優良資源が豊富に存在しています。

同局では地域経済に貢献するようこれらの資源のブランド化を進めており、例えば80年生を超える高品質な高齢級人工林秋田杉について、秋田県と連携して平成28年から「あきたの極上品」としてブランド化するとともに、地域の林業・木材産業関係者と協力してその普及を図ってきました。

更なる取組として、令和4年度に国有林から出材される素材について「高品質ブランド材規格」を制定し、ブランド材の供給を開始しました。原木市場の関係者等を通じて需要動向等の情報収集を行い需要者のニーズに応じた採材を行うとともに、原木市場に出品する際には、材にロゴマークのラベル表示を行うとともに、のぼりを使用してブランド材の普及に努めています。